縦積

テーブルの複数のフィールドを、1つのフィールドに縦に積み重ねて、新しいテーブルを作成する

◇機能

《縦積》は、開いているテーブルの、横に並んだ複数のフィールド（縦積対象フィールド）の値を、1つのフィールドに縦に積み重ねて、新しいテーブルを作成する機能です。固定フィールドに選択したフィールドの値は、各レコードにそのまま繰り返し出力されます。元のテーブルは変更されません。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/05/20	B02	800	3
2024/06/15	A01	1200	10



縦積したテーブル（固定：売上日、商品No　縦積対象：単価、数量）

売上日	商品No	縦積フィールド	縦積対象フィールド
2024/04/10	A01	1200	単価
2024/05/20	B02	800	単価
2024/06/15	A01	1200	単価
2024/04/10	A01	4	数量
2024/05/20	B02	3	数量
2024/06/15	A01	10	数量

※作成するテーブルには、固定フィールドが選択した順に並び、その後に「縦積フィールド」（縦積対象フィールドの値）と「縦積対象フィールド」（元のフィールド名）が追加されます。

※レコードは、1つ目の縦積対象フィールドの全レコード、次に2つ目のフィールドの全レコードの順に並びます。それぞれの中は、元のテーブルの順です。

※「縦積フィールド」は文字型です。数値や日付は、表示されている値の文字になります（例：「2024/04/10」）。

※固定フィールドのデータ型・書式は、元のテーブルと同じです。同じ内容のレコードも、すべて出力されます。

※作成されるレコードの数は、元のレコードの数×縦積対象フィールドの数です（空白レコードを出力しない場合は、その分少なくなります）。

◇メニュー

《加工》-《縦積》

※テーブルを開いている場合に使用できます。開いているテーブルが縦積の元のテーブルになります。

※テーブルの画面で条件式を設定している場合は、その条件式が「条件式」に入力された状態で開きます。

※操作ログから縦積のコマンドを修正することもできます（「■ 操作ログからコマンドを修正する場合」参照）。

■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログで縦積のコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で画面が開きます。

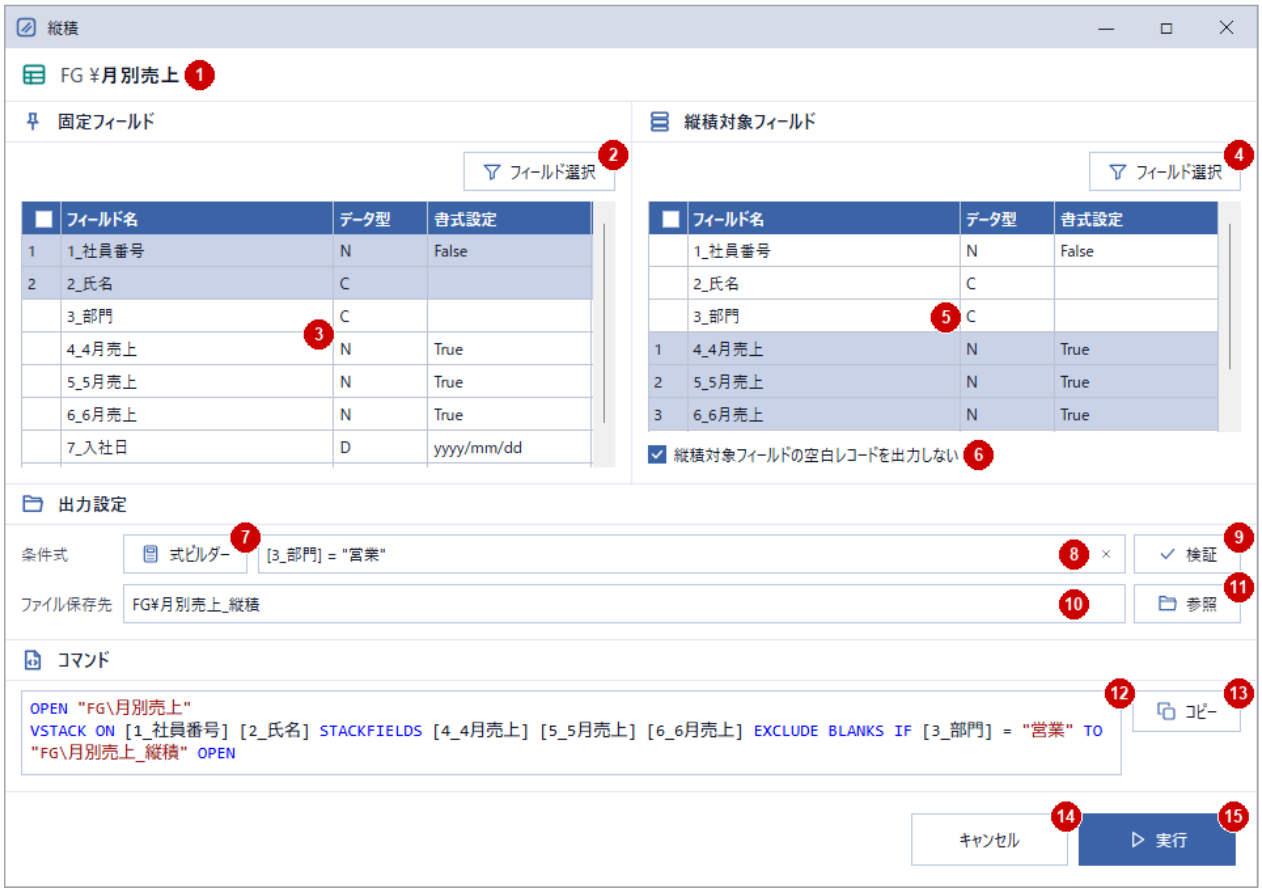
※固定フィールドと縦積対象フィールドが、コマンドに記述された順に選択されます。「ALLFIELDS」の場合は、すべてのフィールドが選択されます。テーブルにないフィールドは選択されません。

※「縦積対象フィールドの空白レコードを出力しない」は、コマンドに「EXCLUDE BLANKS」がある場合にオンになります。

※条件式と保存先は、コマンドの内容が入力されます。保存先には、「04_table」フォルダからの「フォルダ名¥テーブル名」が表示されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容



1. 元のテーブル　：縦積する元のテーブルの、フォルダ名とテーブル名が表示されます。
2. 《フィールド選択》ボタン　：フィールドの一覧を開き、「固定フィールド」をまとめて選択・解除できます。
3. 固定フィールド（必須）　：各レコードにそのまま出力するフィールドの行をクリックして選択します（もう一度クリックで解除）。
   - 左端の番号は選択した順番です。この順に、作成するテーブルの先頭にフィールドが並びます。
   - 見出しのチェックボックス（またはCtrl+A）で、すべてのフィールドを行の順に選択します。
4. 《フィールド選択》ボタン　：フィールドの一覧を開き、「縦積対象フィールド」をまとめて選択・解除できます。
5. 縦積対象フィールド（必須）　：縦積するフィールドの行をクリックして選択します（もう一度クリックで解除）。
   - 左端の番号は選択した順番です。この順にレコードが並びます。
   - 見出しのチェックボックス（またはCtrl+A）で、すべてのフィールドを行の順に選択します。
   - 「固定フィールド」と同じフィールドも選択できます。
6. 縦積対象フィールドの空白レコードを出力しない
   ：オンにすると、縦積対象フィールドの値が空欄のレコードは出力されません（最初はオンです）。
7. 《式ビルダー》ボタン　：「式ビルダー」画面を開き、フィールドや関数を選んで条件式を作成できます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

8. 条件式（任意）　：縦積するレコードの条件を入力します。条件に合うレコードだけが縦積されます。空欄の場合は、すべてのレコードが対象です。
   - 入力中に、関数やフィールドの候補が表示されます（Ctrl+Spaceで表示、Escで閉じます）。
   - 「×」で入力内容を消去します。正しい条件式であることを確認すると、緑の「✓」が表示されます。

9. 《検証》ボタン　：条件式が正しいかを確認します（Ctrl+Enter）。誤りがある場合は、メッセージが表示されます。

10. ファイル保存先（必須）　：作成するテーブルの名前を入力します。
   - テーブル名だけの場合は「04_table」フォルダに、「フォルダ名¥テーブル名」の場合はそのフォルダに作成されます。フォルダがない場合は作成されます。
   - 拡張子（.hdf5）は省略できます。「04_table」フォルダ以外の場所には保存できません。
   - テーブル名の長さは、64文字までです。
   - 記号（「-」「.」「＃」など）や全角スペースは使用できません。名前の最後に「¥」「/」、途中に「..」は入力できません。
   - 元のテーブルと同じ名前は使用できません（大文字・小文字やフォルダが違っても同じ名前とみなされます）。
   - 同じ名前のテーブルがすでにある場合は、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、実行せずに画面に戻ります。

11. 《参照》ボタン　：保存画面を開き、保存先を選択できます。

12. コマンド　：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。固定フィールドと縦積対象フィールドの両方を選択すると表示されます。

13. 《コピー》ボタン　：コマンドをクリップボードにコピーします。

14. 《キャンセル》ボタン　：実行せずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。

15. 《実行》ボタン　：実行します（Enterキー）。テーブルが作成されると、画面が閉じ、作成したテーブルが開きます。

◇縦積の結果

フィールドの選択とオプションによって、作成するテーブルは次のようになります。例は、特に記載がない場合「◇機能」と同じテーブルです。

■ 縦積対象フィールドの選択順を変えた場合

縦積対象フィールドを「数量」「単価」の順に選択すると、数量のレコードが先に並びます。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/05/20	B02	800	3
2024/06/15	A01	1200	10



縦積したテーブル（固定：売上日、商品No　縦積対象：数量、単価）

売上日	商品No	縦積フィールド	縦積対象フィールド
2024/04/10	A01	4	数量
2024/05/20	B02	3	数量
2024/06/15	A01	10	数量
2024/04/10	A01	1200	単価
2024/05/20	B02	800	単価
2024/06/15	A01	1200	単価

※固定フィールドの選択順を変えると、作成するテーブルのフィールドの並び順が変わります（例：「商品No」「売上日」の順に選択すると、商品Noが先頭になります）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「縦積対象フィールドの空白レコードを出力しない」の場合

オン（最初の設定）にすると、縦積対象フィールドの値が空欄のレコードは出力されません。例は、固定フィールド「商品No」、縦積対象フィールド「数量」「備考」の場合です。

元のテーブル（備考は文字型）

商品No	数量	備考
A01	4	返品
B02	3	
A01	10	

縦積したテーブル（オンの場合）

商品No	縦積フィールド	縦積対象フィールド
A01	4	数量
B02	3	数量
A01	10	数量
A01	返品	備考

※オフにすると、備考が空欄の2件（B02、A01）も、「縦積フィールド」が空欄のレコードとして出力されます。

※空欄とみなされるのは、文字型の空欄の値だけです。空白文字（スペース）だけの値は出力されます。

※数値型の「0」、日付型の「1900/01/01」（空欄のまま取り込んだ値）は空欄とみなされず、出力されます。

■ 固定フィールドにすべてのフィールドを選択した場合

元のテーブルのすべてのフィールドがそのまま残り、その後に2つのフィールドが追加されます。例は、縦積対象フィールド「数量」の場合です。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/05/20	B02	800	3
2024/06/15	A01	1200	10

縦積したテーブル（固定：すべて　縦積対象：数量）

売上日	商品No	単価	数量	縦積フィールド	縦積対象フィールド
2024/04/10	A01	1200	4	4	数量
2024/05/20	B02	800	3	3	数量
2024/06/15	A01	1200	10	10	数量

※縦積対象フィールドにすべてのフィールドを選択すると、固定フィールドに選択したフィールドも含めて、すべてのフィールドが縦積されます。

※元のテーブルに「縦積フィールド」「縦積対象フィールド」という名前のフィールドがある場合、そのフィールドは「縦積フィールド_1」「縦積対象フィールド_1」に名前が変わります。

■ 条件式を入力した場合

条件に合うレコードだけが縦積されます。例は、「◇機能」と同じ選択で、条件式「[数量] >= 4」の場合です。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/05/20	B02	800	3
2024/06/15	A01	1200	10

縦積したテーブル

売上日	商品No	縦積フィールド	縦積対象フィールド
2024/04/10	A01	1200	単価
2024/06/15	A01	1200	単価
2024/04/10	A01	4	数量
2024/06/15	A01	10	数量

※条件に合うレコードがない場合も、フィールドだけの（レコードが0件の）テーブルが作成されます。

◇入力内容に誤りがある場合

《実行》ボタンをクリックしたときに、固定フィールドまたは縦積対象フィールドが選択されていない、保存先が空欄などの誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が赤枠で示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《実行》ボタンが使用できるようになります。



※条件式に誤りがある場合（フィールドがない、文字と数値を比較しているなど）は、実行時に誤りの内容を示す画面が表示されます。画面は閉じないので、条件式を修正してもう一度実行してください。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇操作ログ

OPEN "元のテーブル"
VSTACK ON [固定1] ･･･ **STACKFIELDS** [対象1] ･･･ **EXCLUDE BLANKS IF** 条件式 **TO** "保存先" **OPEN**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容	設定内容
OPEN "元のテーブル"	縦積する元のテーブルを開きます	1
VSTACK ON [固定1] ･･･	固定フィールド。選択した順に記述します	3
STACKFIELDS [対象1] ･･･	縦積対象フィールド。選択した順に記述します	5
ALLFIELDS	すべてのフィールド（ONやSTACKFIELDSのフィールドの代わり）	3･5
EXCLUDE BLANKS	縦積対象フィールドの値が空欄のレコードを出力しません	6
IF 条件式	縦積するレコードの条件	8
TO "保存先"	作成するテーブルの名前（保存先）	10
OPEN（最後）	作成したテーブルを開きます	―

※すべてのフィールドを行の順に選択した場合は、フィールド名の代わりに「ALLFIELDS」と記述されます（固定フィールド･縦積対象フィールドそれぞれ）。
※下線部は、「縦積対象フィールドの空白レコードを出力しない」がオンの場合、条件式を入力した場合に記述されます。

■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※フィールド名は「[ ]」で、テーブル名は「"」で囲んで記述します。フィールド名の大文字･小文字は区別されます。
※固定フィールド（1つ以上）、縦積対象フィールド（1つ以上）と「TO "保存先"」は省略できません。
※同じフィールドを「ON」または「STACKFIELDS」の中に2回記述したり、テーブルにないフィールドを記述したりするとエラーになります。「ON」と「STACKFIELDS」に同じフィールドを記述することはできます。
※元のテーブルと同じ名前を保存先にするとエラーになります。

オプションの例（「◇縦積の結果」と同じテーブル。「TO "保存先" OPEN」は省略）

コマンドの記述	縦積の結果
VSTACK ON [売上日] [商品No] STACKFIELDS [単価] [数量]	単価、数量の順に縦積します（「◇機能」の例）
VSTACK ON [売上日] [商品No] STACKFIELDS [数量] [単価]	数量のレコードが先に並びます
VSTACK ON [商品No] STACKFIELDS [数量] [備考] EXCLUDE BLANKS	備考が空欄のレコードは出力しません
VSTACK ON ALLFIELDS STACKFIELDS [数量]	すべてのフィールドの後に2つのフィールドを追加します
VSTACK ON [売上日] [商品No] STACKFIELDS [単価] [数量] IF [数量] >= 4	数量が4以上のレコードだけを縦積します

例

OPEN "売上¥月別売上"
VSTACK ON [社員番号] [氏名] STACKFIELDS [4月] [5月] [6月] EXCLUDE BLANKS TO "月別_縦積" OPEN
OPEN "売上¥月別売上"
VSTACK ON ALLFIELDS STACKFIELDS [4月] [5月] IF [4月] > 0 TO "月別_4月5月" OPEN

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.